令和６年６月６日（木）

令和６年度　第２回横山小学校運営協議会

～　次第　～

※開催要件（過半数の出席）確認

※授業参観　１４：０５には、ＣＳルームにお戻りください。

【授業参観の視点】

学校教育目標「夢と希望をもち　自分らしく生きる子供」に向けた重点である「目指す子供像」（P5「令和６年度　横山小学校グランドデザイン」参照）

【目指す子供像】　←　そのために【付けたい力】

・知：自分から　学び合う子　←　主体的に学びに向かう力
・徳：みんな仲よく　認め合う子　←　自他のよさに気付くことができる力
・体：力いっぱい　高め合う子　←　目標に向かって粘り強く取り組む力

の様子が見られたか。

１　会長挨拶

２　校長挨拶

３　議長の選出

４　前回会議録確認

５　熟議

（１）授業参観や運動会における子供の様子（感想発表）

（２）学校支援活動の具体化に向けて

①学校教育目標、目指す子供像への取り組み（教務主任）

・総合的な学習の時間（かなきの学習）
・キャリア教育
・たつっ子わくわく学習

②グループワーク（意見の交換）と発表（意見の共有）

※グループ分けについては、P2 協議会名簿を参照

６　報告

・読み聞かせへの支援について（学校支援コーディネーターより）

７　連絡

・学校運営協議会自己評価について（熟議チェックシート、評価用紙）

・次回

開催日時：令和６年１０月１５日（火）　１３：４５～１５：４５（授業参観あり）

熟議内容：学校支援活動の具体化に向けて、前期学校評価の結果について

令和６年度　横山小学校運営協議会名簿

※敬称略

		氏名	備考	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
1	会　長	青山　敏郎	人権擁護委員、元校長	A
2	副会長	溝口　　玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長、元校長	B
3	委　員	内野　永士	竜川連合自治会長	A
4	〃	藤澤　徳次	Ｒ４・５龍山自治会連合会長（現　副会長）	B
5	〃	今場　嘉寿	元横山小ＰＴＡ会長	A
6	〃	長田テツ子	元体育指導員	B
7	〃	田中　　綾	R4ＰＴＡ会長代理、元竜川幼ＰＴＡ会長	A
8	〃	太田亜希子	学校支援コーディネーター、保護者代表、元竜川幼ＰＴＡ会長	B
9	〃	猪　さやか	保護者代表	A
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	増田　健一	竜川ふれあいセンター所長	B
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	藤澤　典広	浜松市龍山支所長	A
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	坂井　久司	龍山民生委員、児童委員協議会会長	A
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	森下　智子	竜川主任児童委員	A
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	藤原二三美	龍山主任児童委員	B
		長坂麻里子	校長	
		川村　雄司	教頭	
		遠見石範子	教務主任、コミュニティ・スクール担当	
		沖　みどり	ＣＳディレクター	
		市川　有佳	学校支援コーディネーター、図書館補助員、理科支援員	

令和６年度　横山小学校運営協議会　年間開催計画

回	日時	備考
第１回	令和６年　４月２５日（木）　13:45～15:45	授業参観、ＣＳルーム
第２回	令和６年　６月　６日（木）　13:45～15:45	授業参観、ＣＳルーム
第３回	令和６年１０月１５日（火）　13:45～15:45	授業参観、ＣＳルーム
第４回	令和７年　２月　７日（金）　14:00～16:00	ＣＳルーム

令和６年度　第１回　横山小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開 催 日 時　　令和６年４月２５日（木）　１３時４５分から１５時４５分まで
２　開 催 場 所　　横山小学校　３階ＣＳルーム
３　出 席 委 員　　内野 永士、 藤澤 徳次、 青山 敏郎、 溝口　玄、 長田 テツ子、
　　田中　綾、 太田 亜希子、 猪 さやか
４　欠 席 委 員　　今場 嘉寿
５　オブザーバー　　増田 健一（竜川ふれあいセンター所長）、 坂井 久司（龍山民生委員）、
　　森下 智子（竜川主任児童委員）、 藤原 二三美（龍山主任児童委員）
６　学校支援コーディネーター　　市川 有佳
７　学　　校　　長坂 麻里子（校長）、 川村 雄司（教頭）、 遠見石 範子（ＣＳ担当）
　　沖 みどり（ＣＳディレクター）
８　教育委員会　　井島 健蔵（教育総務課）
９　傍　聴　者　　なし
10　会議録作成者　　ＣＳディレクター　沖 みどり
11　議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青山会長から溝口副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12　協 議 事 項

（１）令和６年度学校運営の基本方針について
（２）夢育やらまいか事業に対する意見書について
（３）令和６年度の目標について

13　会 議 記 録

司会の川村教頭から、委員総数９人のうち８人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（１）令和６年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・ 子供の人数が減り、ワンツーマン的な指導になっていくと思うが、これを生かし、他の学校にはない授業を行っていってほしい。（内野委員）
・ 小規模校だったおかげで、卒業生同士の仲が良く、小学生たちの面倒をよく見てくれている。そんな卒業生や地域の若い方をうまく巻き込んで行事を行っていけば、学校全体に活気が出てくるのではないか。（太田委員）

- 少人数というとマイナスのイメージだが、少人数だからこそできることもたくさんある。子供たちだけではできなくても、保護者や地域の方、卒業生みんなに協力してもらい、できないことよりもできることに目を向けて、子供たちにいろいろな経験をさせてあげたい。（猪委員）
- 少人数は、強みである。学びとは、個で身に付けることであり、周りの人数は関係ないものだと思う。大人数で学び合う場面は、意図的に作っていけばいい。また、校長先生が掲げるグランドデザインは、子供たちへいろいろな技を使い、惹きつけるような授業をしてくださる先生方がいてこそであると思う。（青山会長）
- 教育資源のたくさんある環境の中で、自然に親しむことや、自然を恐れることを小さいころから身に付けることができている横山の子供たちは、社会に出てもいろいろな事に対応できる力が身に付いていると思う。先生方には自信をもって、ここで教育をしていただきたい。（坂井オブザーバー）
- 横山小学校では、子供たち一人一人丁寧に指導してくださり大変安心できている。しかし、卒業するといじめをはじめ、いろいろな問題にぶつかる。その困難に耐えうる強さを育てていってほしいと思う。（森下オブザーバー）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２）夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書についての説明があり、全員異議なくこれを承認した。

（３）令和６年度の目標について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき令和６年度の目標について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- 子供たちのために地域が取り組んでいくのが目標であり、目標として掲げる中に「地域のため」の熟議は必要ではないと思う。（溝口副会長）
- これからの行事や学習の支援には、LINE を利用しての募集を検討してはどうか。（太田委員）
- 目標の２つめについては、「地域から学ぶ活動」への支援のあり方として、分かりやすくしたらどうか。（溝口副会長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、すでに自治会にて回覧済みである、資源回収と運動会の案内についての説明があった。また、次回会議を、令和６年６月６日（木）午後１時４５分よりＣＳルームで開催する旨の報告があった。

令和6年度　横山小学校グランドデザイン

はままつ人づくり未来プラン
キャリア教育　教育の情報化　コミュニティ・スクール

P;計画

校訓
みんな仲よく
自分から
力いっぱい

学校教育目標
夢と希望をもち　自分らしく生きる子供
自己実現　　自己肯定感の高まり

光が丘中学校区
目指す子供像
試す人
信頼される人
夢ある人

未来創造の人づくり

市民協働の人づくり

キャリア教育の推進

仲間をつくろう　人間関係形成・社会形成能力
自分を高めよう　自己理解・自己管理能力
問題を解決しよう　課題対応能力
夢に近づこう　キャリアプランニング能力

知　自分から　学び合う子

D;実行

「主体的に学びに向かう力の育成」
〇進んで学習に取り組み、自分の考えをもつ
・付けたい力の明確化と共有
・個の興味・関心や学習の進め方に応じた支援
・朝学習の時間の活用
〇話し合い・学び合いを通して考えを深める
・話し合いの視点や目的の明確化
・話し合いを効果的に行う工夫
・少人数に適した学び合いの工夫
〇わかった、できたを実感する
・活動の振り返りの充実
・学習の記録や成果物の蓄積と活用
・児童の伸びや頑張りに対する称揚や価値付け

C;評価　A;改善

主体的に学びに向かい、わかったできたを増やしている

【学校評価　達成率８０％以上】

徳　みんな仲よく　認め合う子

「自他のよさに気付くことができる力の育成」
〇お互いを大切にする
・「よいこと見つけ」の時間の設定
・正しい言葉遣いや温かい言葉遣いの意識化
・たつっ子ショート集会の設定
〇自分からあいさつをする
・地域の方を紹介する場の設定
・あいさつの意味や意義の指導
・気持ちのよいあいさつの称揚
〇ふるさとを大切にする
・地域から学ぶ活動の設定
（生活科・総合的な学習の時間　たつっ子わくわく学習など）
・郷土を愛する心の育成

自分や相手のよさに気付き、自分も友達も大切にしようとしている

【学校評価　達成率９０％以上】

体　力いっぱい　高め合う子

「目標に向かってねばり強く取り組む力の育成」
〇運動の目標が達成できるように、最後までこつこつ活動に取り組む
・個々の児童のゴールとスケジュールを把握するための工夫（目標シート、タブレットパソコン活用）
・他者と関わり合える場の設定
〇進んで運動技能と体力を向上させる
・単元に関わる補助運動の工夫
・外遊びの奨励（スポーツの紹介）
〇健康な心と体を意識して高める
・基本的な生活習慣の定着
・保健目標の意識化
・食育指導の充実（全校給食、食育講座）

自分の目標に向かって、ねばり強く取り組み、健康な心と体を作ろうとしている

【学校評価　達成率９０％以上】

目指す学校像
だれもが安心できる温かで魅力ある学校
～子供、職員、保護者、地域にとって～

丁寧な対応　個別指導の充実　開かれた教育課程　心理的安全性の向上

いじめの根絶　安全な教育環境の確保

連携・支援
コミュニティ・スクール

スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー

龍山支所　竜川ふれあいセンター

保・幼・小・中の連携
・光が丘中学校区一貫教育協議会（交流・研修）
・連合教育（光明小と学年ごと交流）

家庭・地域との連携
・家庭・地域と学校がつくる「チーム横山」
・横山小学校運営協議会（R4～）

横山小学校　総合的な学習の時間　全体計画

＜児童の実態＞
- 明るく素直。
- 友達同士の関わりが深く、互いに仲良く協力できる。
- 身の回りの様々な事象に対して、疑問を抱き、意味ある課題にまとめていくことが苦手である。

＜地域の実態＞
- 豊かな自然環境に恵まれている一方、市街地から離れているため、様々な体験や校外に出ての学習が限られる。
- 学校教育に対する理解と協力が得られやすく、多くの教育資源と教育人材に恵まれている。

＜保護者・地域の願い＞
- 学校が地域のシンボル的存在であって欲しい。
- 子供たちのための協力は惜しまない。
- 大規模校に負けない力を付けて欲しい。

＜教職員の願い＞
- 自己有用感を高め、自信につなげたい。
- 自分から伝える力を付けさせたい。
- 学び合う学習で対話力や自ら解決する力を付けさせたい。

【学校教育目標】

夢と希望をもち自分らしく生きる子供

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
地域の歴史や産業・文化	地域の歴史や産業・文化を調べる中で、人々の工夫や思いが分かる。	情報を収集し、分かったことや考えを分かりやすくまとめることができる。	地域の特色を知り、ふるさとを大切にしようとすることができる。
地域の福祉・環境	地域の福祉や環境について関わる人々の活動や思いを知り、地域のよさを発見する。	情報を収集し、分かったことや考えを分かりやすくまとめ、発信することができる。	自分の思いの実現に向けて、学んだことを生かそうとすることができる。

	学習活動
３・４年	地域探検 (R6 龍山探検隊) (R7 竜川探検隊)
５・６年	地域探求 (R6 福祉) (R7 環境・森林学習)

＜指導方法＞
- 児童の課題意識を連続発展させる支援
- 個に応じた指導の工夫
- 教科との関連的な指導
- 対話を中心とした個別支援の徹底
- 言語活動による体験の意味の自覚化
- 多くの「人・もの・こと」と触れ合い体験する「たつっ子わくわく学習」

＜学習の評価＞
- ポートフォリオを活用した評価の充実
- 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定
- 個人内評価の重視
- 指導と評価の一体化

＜指導体制＞
- 連絡調整と支援体制の確立(学習支援コーディネーター)
- 地域の学習ボランティアの集約・活用
- 担任外の教職員による支援体制の確立
- **人材マップ・１年間の学習の流れをファイルに残す。**

＜各教科等との関連＞

他教科及び総合的な学習の時間で身に付けた資質・能力を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする。その際、言語能力・情報活用能力、コミュニケーション能力などすべての学習の基盤となる資質や能力を重視する。

＜キャリア教育とのかかわり＞
- 授業を通して「自分を高めよう」とする力を育てる。
- 体験や活動に自分から関わることを通して「問題を解決しよう」とする力を育てる。

令和6年度　横山小学校　キャリア教育全体計画

浜松市の目指す子供の姿	学校教育目標	児童（生徒）の実態
○自分らしさを大切にする子供 ○夢と希望を持ち続ける子供 ○これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供	夢と希望をもち 自分らしく 生きる子供	○明るくて、性格がいい子が多い。 ▲集中して話を聞けない子がいる。 ▲大人数の中で過ごすことに慣れていない。 ▲セルフコントロールが弱い。 ▲自分にことを自分でできない子がいる。 ▲粘り強く取り組むのが苦手。 ▲いろいろな活動について、何のためにやるのかを理解していない子がいる。 ▲気が付いて行動できない子がいる。
中学校区　目指す子供像		
試す人　信頼される人　夢ある人		

キャリア教育指導目標（学校教育重点目標）

自分で考え、自分で行動する子を育てる

	仲間をつくろう（人間関係形成・社会形成能力）	自分を高めよう（自己理解・自己管理能力）	問題を解決しよう（課題対応能力）	夢に近づこう（キャリアプランニング能力）
目指す姿	○相手の意見をよく聴いて、それに対する自分の考えを伝えることができる。また、大人数の中でも友達と仲良く過ごすことができる。	○自分のことは自分でできる。また、自分のことを理解し、感情や行動をコントロールして、健康な生活を送ることができる。また、粘り強く行動することができる。	○問題や課題を解決するために、ねらいや目的を理解して、計画を立案し、実践することができる。	○働くことへの興味・関心を持ち、なりたい自分をイメージすることができる。また、周りの人のために行動することができる。
培う力	・他者を理解する力 ・他者に働きかける力 ・コミュニケーション能力	・自分のことを自分で行う。 ・セルフコントロール力 ・忍耐力	・課題発見と計画立案の力 ・情報を理解・選択・処理する力 ・実践する力	・将来をイメージする力 ・周りの人のために行動する力
低学年	話をしっかりと聴き、自分の考えや気持ちを友達の前で話すことができる。	自分のことを自分で行い、健康な生活を送ることができる。	学習や活動に前向きに取り組むことができる。	学習が自分の将来につながっていることに気づくことができる。
中学年	話をよく聴いたり、自分の考えを伝えたりして、協力して活動することができる。	自分のことを理解し、明るく健康な生活を送ることができる。	自分なりのめあてを持ち、自分の力で課題を解決しようと努力することができる。	身近な働いている人に興味・関心を持ち、学習や活動が、自分の将来につながっていることに気づくことができる。
高学年	相手の意見をよく聴いたり、話し合いに積極的に参加したりすることができる。また、大人数の中でも友達と仲良く過ごすことができる。	自分の感情や行動をコントロールして、粘り強く行動し、明るく健康な生活を送ることができる。	課題解決のために、ねらいや目的を理解し、計画を立て、順序よく考えて、答えを導き出すことができる。	職業への興味・関心を持ち、なりたい自分をイメージすることができる。また、周りの人のために行動することができる。

教科等における指導内容

各教科	・学ぶことの意義を理解させ、意欲的な学習態度を育成する。 ・学習の目標を持たせ、主体的・計画的に取り組む態度を育てる。 ・基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・生き方教育の充実を図る。	特別活動 学級活動	・一人一人の自己存在感を高め人間関係の深化を図る。 ・学級や学校における生活の充実と向上を目指し、生活上の問題を話し合って解決する態度を養う。 ・学級の一員として自己の果たす役割への認識を高める。
道徳科	・豊かな体験を生かし児童の内面に根ざした道徳性を育成する。 ・自己を見つめ、他共によりよく生きようとする心を育てる。 ・働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知り、公共のために役に立つ力を育てる。	特別活動 児童会活動	・縦割活動を通して、異年齢の児童同士の関わりと働くことの意義を学ばせる。 ・学校生活を豊かにするために、諸問題を解決する実践力を育む。
総合的な学習	・自ら課題を見つけ、学び方やものの考え方を身に付ける。 ・問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。 ・進んで人と関わり、コミュニケーション能力を高める。 ・自己の生き方を考えることができる。	特別活動 クラブ活動	・地域の人材や素材などを活用しながら、児童の社会性を高める。 ・自己の興味や関心のある出来事を追及する。
外国語	・外国語を用いたコミュニケーション能力の育成を図る。 ・日本と外国の言語や文化の差異について体験的な理解を図る。	特別活動 学校行事	・体験的な活動を行い学級や学校への所属感を高める。 ・勤労や生産の尊さと喜び、社会奉仕の精神を養う。 ・学校生活に充実感と達成感を持たせる。

たつっ子わくわく学習・校外学習などにおける指導内容

・講師を招いて、話を聞いたり、交流したりすることを通して、多様性を理解し、前向きに行動していこうという気持ちを持たせる。
・講師の人に教えてもらいながら色々なことを体験することを通して、自分の生き方や将来についてのイメージを高める。

令和6年度　浜松市立横山小学校　5･6年生　キャリア教育年間指導計画

基礎的･汎用的能力		各学年の重点目標
仲間をつくろう	仲	相手の意見をよく聴いたり、話し合いに積極的に参加したりすることができる。また、大人数の中でも友達と仲良く過ごすことができる。
自分をたかめよう	自	自分をセルフコントロールして、粘り強く行動し、明るく健康な生活を送ることができる。
問題を解決しよう	問	課題解決のために、ねらいや目的を理解し、計画を立て、順序よく考えて、答えを導き出すことができる。
夢に近づこう	夢	職業への興味･関心を持ち、なりたい自分をイメージすることができる。また、周りの人のために行動することができる。

【行】行事
【わ】たつっ子わくわく学習
【教科名】その教科での内容
【保】保健･給食指導と関わるもの

月	4月	5月	6月	7月	8･9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仲		【行】春の遠足	【行】授業体験（5･6年連合） 【行】宿泊体験（5年連合）				【行】中学校入学説明会			【行】授業体験（5･6年連合）	【道】中学生に向けて
自		【保】生活リズムをふりかえろう		【わ】泳ぎ方教室 【行】部会水泳記録会 【行】30分間回泳（5年）	【保】生活リズムをふりかえろう 【わ】陸上教室	【行】 部会陸上大会	【保】学校保健週間 【わ】ランニング教室				
問		【総】地域探検	【総】地域探検	【総】地域探検	【総】地域探検	【総】地域探検					
夢				【わ】ようこそ先輩（陶芸教室）	【わ】ようこそ先輩（ボート教室）						【行】卒業式
パスポート	1年間の目標			1学期の振り返り 個別面談 （保護者記入）				2学期の振り返り 個別面談 （保護者記入）			1年間の振り返り（5年） 6年間の振り返り（6年）

8 たつっ子わくわく学習

本校では、「ふるさとに学ぶ活動」として、地域の「人・もの・こと」に触れ、竜川や龍山の自然に親しんだり、産業を学んだりする活動を行っている。

この「ふるさとに学ぶ活動」に、地域の自然や人と体験を通して関わる「クラブ活動」、講師を招いて話を聞いたり体験したりする「陸上教室・泳ぎ方教室・表現教室・ランニング教室」を加えたものを「たつっ子わくわく学習」と位置付け、総合的な学習の時間、社会科、体育科、学校行事、クラブ活動の時間を使って取り組んでいる。

（1）ねらい

○ 地域の「人・もの・こと」に触れる体験をすることで、自分の将来についてのイメージを広げる材料とする。 【キャリア教育：夢に近づこう】

○ ふるさとの自然に親しんだり、産業を学んだりすることにより、郷土を愛する気持ちを育てる。

○ 自分のことを理解し粘り強く行動する力を育てる活動を展開する上で、講師から話を聞いたり、一緒に体験したりする活動を行うことで、その効果を高める。

【キャリア教育：自分を高めよう】

（2）実施計画

※年間計画、担当者については「たつっ子わくわく学習年間計画」参照

R６．たつっ子わくわく学習年間計画（B年）

	担当	学年		１学期				２学期				３学期		
				４月	５月	６月	７月	８・９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
教科・総合	各主任	１２年	生活科			○地域の方に話を聞こう【生】		○地域の方に話を聞こう【生】		○地域の方に話を聞こう【生】				
		３４年	A年（竜川）			○地域の方に話を聞こう【総】	○農家の仕事【３年社】・鈴木清三さん	○地域の方に話を聞こう【総】	○地域の方に話を聞こう【総】					
			B年（龍山）		○龍山について【総】・龍山協働センター・森林文化会館	○ぶか凧について【総】・宮澤宗男さん ○ブルーベリー畑見学【総】・高村定明さん	○地域の方に話を聞こう【総】	○地域の方に話を聞こう【総】 ○ドラゴンママ見学【総】・ドラゴンママ	○地域の方に話を聞こう【総】 ○秋葉神社見学【総】・秋葉神社					
		５６年	A年（環境）			○地域の方に話を聞こう【総】	○治山学習【総】・農林局 ○秋葉ダムについて【総】・電源開発	○地域の方に話を聞こう【総】 ○林業【５年社】・フジイチ	○地域の方に話を聞こう【総】 ○漁業【５年社】・中田孝雄さん					
			B年（福祉）		○地域の方と交流しよう【総】・はつらつクラブ ○地域の方と交流しよう【総】・やすらぎ	○福祉教育プログラム【総】・天竜厚生会	○ＵＤ出前講座【総】・福祉課 ○地域の方と交流しよう【総】・はつらつクラブ	○手話について【総】・福祉課 ○地域の方と交流しよう【総】・はつらつクラブ ○地域の方と交流しよう【総】・やすらぎ						
体育科	体育主任	３～６年					○泳ぎ方教室【体】・高柳勇太さん 夢育	○陸上教室【体】・岩下尚企さん 夢育		○ランニング教室【体】・赤塚元さん 夢育				
ふるさとに学ぶ活動・クラブ	教務・クラブ担当	３～６年		○茶摘み【生・総】・鈴木笙吾さん（すずしょう）A年に実施	○田植え【生・総】・鈴木清三さん 夢育		○陶芸教室（保護者参加あり）【図工】・山口剛さん 夢育 ○川遊び【ク】 夢育	○表現教室【行】・劇団たんぽぽ 夢育 ○ようこそ先輩（ボート教室）【行】・中本佳保里さん 夢育	○稲刈り【生・総】・鈴木清三さん 夢育		○お米を使った活動【ク】 夢育			

※「地域の方に話を聞こう」については、４～５月に総合の時間に児童が話し合って、目的をはっきりさせてから、連絡する。地域人材としては、以下の方がいる。計画的に活用する。

夢育

（A年）
34年：中田芳郎さん、今場嘉寿さん
56年：伊藤敏郎さん（森林組合の方）、髙橋勝也さん
（B年）
34年：内山忠治さん（緑の少年団団長）、髙橋勝也さん
56年：えがおデイサービス

※　上記の活動はもちろん、ちょっと地域の方に学校に来ていただいて教えてもらいたいときは、CSを活用してください。
（CS活用の流れ）
・教師が、ねらい・予定日時・どんな方をよびたいかを決める。
・CS担当教師に相談
・CS担当教師が、CSコーディネーターに依頼
・CSコーディネーターが調整
・来校者、日時決定
・当日を迎える（コーディネーターが対応）

夢育・・・夢育やらまいか教育推進事業から予算が出ます。

R6.06.06　横山小学校運営協議会②

学校支援活動の具体化に向けて　～グループワーク記録用紙～　【　　】グループ

■　総合的な学習の時間（かなきの学習）について

■　キャリア教育について

■　たつっ子わくわく学習について

R6　読 み 聞 か せ 当 番 表

☆　読み聞かせ時間は、8:00～8:15です。8時少し前に、校長室へお寄りください。

	3･4年	5･6年
5月15日（水）	担任	担任
6月12日（水）	田中　佐知子さん	太田　智美さん
7月17日（水）	内山　奈々代さん	鈴木　富美子さん
9月11日（水）	市川　有佳さん	内山　季代子さん
10月16日（水）	担　任	担　任
11月13日（水）	内山　俊江さん	市川　有佳さん
12月11日（水）	太田　智美さん	北村　嘉子さん
1月15日（水）	内山　季代子さん	田中　佐知子さん
2月12日（水）	鈴木　富美子さん	内山　俊江さん
3月　5日（水）	北村　嘉子さん	内山　奈々代さん

☆　都合がつかなくなりましたら、担当（大石）まで御連絡ください。（横山小　923－0073）

☆　図書室の本も、ぜひ御活用ください。原則として午前中に図書館補助員が勤務しております。

【参考資料】

【　熟議チェックシート　】

氏名（　　）

	できている	もう少し	
評価項目1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを遠慮なく質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞置くだけでなく、よりよい学校運営のために委員が建設的な意見を発言できた。
			委員が、学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、委員が率直に意見を述べることができた。
評価項目2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

≪各委員記入用≫

令和６年度　学校運営協議会自己評価表

委員名（　　）

＜本年度の目標＞

○　過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援活動として何ができるのか熟議する。
○　地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目２＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目３＞　協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目４＞　今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

（様式１）

令和６年度　学校運営協議会自己評価表

浜松市立（　　）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

○　過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援活動として何ができるのか熟議する。
○　地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目２＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目３＞　協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目４＞　今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）